



SDGs フォーラム

各国のジェンダー平等に向けて。 NGOの今

講師

並木 麻衣

日本国際ボランティアセンター (JVC) 広報・
ファンドレイジンググループマネージャー

日程

2月2日(木) 13:00-15:00

料金

500円

定員

30名

(オンライン対応はなし)

申込方法

大津市市民活動センターまで電話でご予約をいただくか
moveotsu@gmail.com に電話番号とお名前と、
フォーラムに参加をご希望される旨を記入の上ご送信ください。

会場

大津市市民活動センター大会議室

主催

大津市市民活動センター

お問合せチケット窓口

077-527-8661

〒520-0047 大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1 階

E-mail: moveotsu@gmail.com

みんなで楽しく♪

音楽絵本で リトミック

～親子の笑顔をはぐくむ楽しい時間～

日付 2月3日(金) 3月3日(金)

時間 11時30分～(一時間程度)
※受付は11時15分から

参加費 1000円(2人目からは500円)

会場 大津市市民活動センター

持ち物 お子様の飲み物、下に敷くバスタオル

対象 しっかりお首のすわった
生後3ヶ月～就学前まで

定員 25組(先着順、要予約)
予防接種後の72時間以内のご参加はお控えください

予約・問合せ 大津市市民活動センター 077-527-8661

「学ぼう サステナブルな暮らし方」

第6回 つながるカフェ

「フェアトレードをチョコッと体験」

【日時】2月10日(金)
10時～12時

【主催】HCC グループ

詳細・申込は

世の中にあふれる“もったいない”を“もっといい”へ

大津もったいないフェス 2023

3/21(火祝) 10:00~15:00

大津ナカマチ商店街(丸屋町商店街・菱屋町商店街・長良商店街)

地球と自分と子どもたちへ優しい未来を届けるために今できるアクションを
古き良き商店街で世代を超えてみんなで楽しむ1日

出展者募集中

①子どもたちが出店する「こども商店」
②大人のフリマ

詳細・申込は→

みんなで楽しく！！ ベビーリトミック

会場：明日都浜大津1階

対象：生後3ヶ月から就園前頃まで

参加費：1回500円

問合せ：070-5266-2890

講師：七蔵司きよみ

(保育士・リトミック講師)

ピアノに合わせて
リトミックや
知育活動を楽しもう！

大津リトミックグループ

保育士・音楽教室講師によるメンバー構成で
毎月、明日都浜大津で開催しています。

編集後記

編集を担当したYです。まちづくり協議会のスタッフのみなさま、貴重なお話をありがとうございました！地域のためにこういった取り組みをしてくださっている方たちがいることに頭が下がる思いです。
「私も少しずつ町のために何かできることを始めてみようかな？」と思ってくれる人が増えたらいいなと思い、一年の門出(スタート)の日の出の写真を表紙にチョイスしました。上田様、写真のご提供ありがとうございました！私も少しずつ頑張ろうと思います。

発行

大津市市民活動センター

大津市浜大津 4-1-1 (明日都浜大津 1 階)

077-527-8661

moveinfo@movementotsu.com

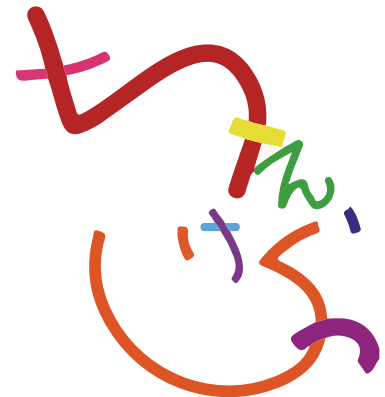
Web



facebook



instagram



Vol. 27

2023.January

WINTER



Take Free

まちづくり
協議会って
何？

写真提供：上田泰史さん(株式会社 大津給食センター)

みなさんは、地域のまちづくり活動と聞いてどのような活動を思い浮かべますか。例えば、通学路での子どもの見守り、地域の防犯パトロールや、災害時に地域で助け合うための訓練を行うのもみなさんが安心、安全に暮らすことのできるよう、地域の団体により取り組まれている大切なまちづくり活動です。

ところが、今、地域のまちづくりの現場では、担い手の不足や固定化などが大きな課題となっており、これまで取り組まれてきた大切なまちづくり活動を、将来にわたり継続していくことが困難な状況となっている地域もあります。こういった現状に対し、これまで団体ごとに取り組んできた活動や現状、課題を地域のみなさんで共有したうえで、団体の垣根を越えて学区全体で連携、協力してこれからの活動を考えていくための話し合いの場としてまちづくり協議会が設立されています。大津市では、これまで地域の実情に合わせて36の小学校区のうち15学区でまちづくり協議会が設立されています。今回は、まちづくり協議会として主体的に取り組んでいる活動、また、新たにまちづくりに参画した方のお話などをご紹介しますので、みなさんぜひご覧ください。(大津市市民部協働のまちづくり推進室)





3つのまちづくり協議会

大津市では多くのまちづくり協議会が活動されています。
今回はその中から3つのまちづくり協議会の地域の特徴と主な活動内容、
現場のスタッフの声をお届けします。



長等学区まちづくり協議会

歴史の情緒と新しさが創造力の源

三井寺方面の中心市街地は少子高齢化、核家族化が急速に進み従来の活力が失われつつある中、再生のために様々な取り組みをおこなっています。一方、西大津地域では多くのマンションが立ち並び、新しい住民によるまちづくりが展開されています。地域の課題が複雑化し、ニーズが多様化しているからこそ老若男女が一丸となってまちづくりを進めるように取り組んでいます。

自然環境に関しては、三井寺をはじめ、多くのお寺が建ち並んでいます。琵琶湖疏水も有名で、三井寺を中心に季節毎に色々な景色が楽しめます。子育て支援活動としては未就園児さん対象のチェリーくらぶやさくらくらぶを月一回でおこない、親同士のふれあいの場を提供しています。

老若男女・新旧のまちで心配なのはやっぱり防災

学区民の憩いの場を提供する意味で各種団体と地域の団体と協働で「ながらカーニバル」「地域防災訓練」「市民運動会」「文化祭」「地域福祉研修」等多くの活動を行っています。「ながらカーニバル」では、自治会員はじめ、2000人以上の方が夏の夜を楽しんでいただきました。「市民運動会」「文化祭」は、近年はコロナ禍での開催でありながらも、今年もたくさんの人の参加がありました。



ながらカーニバルでの熱唱の一幕です。

住民主導で楽しいイベント・公園をまちの中心に！

ながらパークモール構想による、地域内の公園を利用した各種団体と地域団体等が連携し、賑わいと交流を創出する「ハロウィン事業」「ほたるの育成事業」「親子防災テント宿泊体験」「子ども達による桜植樹」事業等を行っています。パークモール構想による取り組みは、まちづくり協議会になってからの取り組み事業で、なかでも「ハロウィン事業」は、中学生以下のお子様対象のイベントで、800人ほどの親子が長等公園や皇子山公園三角広場で楽しいひと時を過ごしていただきました。

又、持続可能な自立した地域社会を目指し、新たな財源確保の為の地域の公共駐車場の有料化、民間事業者等の提言を行っています。

スタッフの声

地域活動における担い手不足を感じており、地域の自主・自立を目指すハードルとなっている規制の緩和等、思い切った権限移譲を進めるべきと考えています。そんな中、学区の幼小中のPTAさん、皇子山中学生のボランティアさん、大津日赤看護専門学校のボランティアさんにご協力いただいております。

ホームページ・お問い合わせ
<https://nagarand.com/>

「夢」と「希望」のあるまちづくりをめざしています



山中比叡平学区まちづくり協議会

豊かな自然とあたたかな人と

山中比叡平学区は比叡山の中腹にある人口約2,700人の地域です。自然豊かな街並みで車通りも少なく、穏やかな時間が流れています。小学校のすぐ隣には幼保一体施設である「やまのこひろば」もあり、外国籍の住民も増えてきました。小さな町なので顔なじみになりやすくアットホームな地域です。

山中比叡平ににぎわいを！

コロナ禍で中止が相次いだイベントを少しでも開催できるよう努めております。さらに、空地空家問題などの地域の環境整備や小学校と連携して学校林の保全活動、又、近年ではこの地域の大切な問題である公共交通対策に力を入れております。このようなまち協の活動は、毎月のカラー版の月報発行により、住民へ広く周知しております。



地域のマーケットのにぎわいの様子

やっぱり山中比叡平に住みたい！

私は比叡平で生まれ育ち、一度は別の地域に住みましたが、「子どもは比叡平で育てたい」と思い帰ってきました。比叡平での子育ては地域の皆さんが見守ってくれている安心感があります。自らがまち協に所属することで直接そのお手伝いの機会を設けることができ、一緒に子育てをできる喜びを感じています。これからも、子育て世代だけではなくこの地域への恩返しができるような活動をしていきたいと思っています。



紙芝居やハロウィンなど子育て世帯に嬉しいイベントを多数開催しています。



比叡山の中腹にある地域のため交通は確かに不便ですが、とにかく居住環境が最高です！皆様のイメージとは違った街並みが広がっていると思いますので、ぜひ一度山中比叡平へ遊びに来てください。

ホームページ・お問い合わせ
<https://yamanakahieidaira.net/>



Facebook

山中比叡平にはリスもいるよ～！是非来てね～！



葛川まちづくり協議会

山間部の9つの集落が連携したまちづくり

大津市の最北端、1,000m級の山々に囲まれた山間地で、琵琶湖に注ぐ安曇川の清流に沿って南北約14kmに渡り9つの集落が点在する、大変豊かな自然に恵まれた地域です。平安時代の昔から人々が静かに力強く山の暮らしを紡いできましたが、現在は全住民合わせても225人(12月1日現在)と市内で最も過疎・高齢化の進んだ地域となりました。当協議会では、過疎・高齢化による課題の改善のための様々な取り組みを行なっています。

人口増加へ、一番の取り組み…葛川に住んでみませんか？



空家の片付けや修繕のお手伝いも！

増加する空家対策もかねて、豊かな自然環境と市街地へのアクセスの良さを売りに、空家所有者と移住希望者のマッチング事業を行なっています。特に5年前より小規模特認校となった葛川小中学校と連携し、子育て世代の移住促進に力を注ぎ、今年度は子育て世代だけでも3家族が移住、来年度も既に2家族の移住が決まっています。

初開催イベント「舞と灯火」

地域の課題解決に欠かせない人材確保のため、葛川の人も外の人もみんなが葛川のファンになって、葛川に足を運ぶ関係づくりに力を入れています。先日は、地域のシンボルでもある神社でスリランカの伝統舞踊を上演するイベント「舞と灯火」を開催し、200名超の方々にご来場いただきました。地域住民、移住者、特認校PTA、学生ボランティアらで一つのイベントを作り挙げたことで新たな絆も生まれました。この関係を、今後の葛川のまちづくりを担う力に育てていきたいと考えています。



集まれ葛川のファン！

葛川に移住し、葛川まち協スタッフに

子ども達の賑やかしく走り回る姿を、温かいまなざしで見守ってくださる集落のみなさんに、感謝の日々です。自然と共にある葛川の方々の営みの豊かさに触れ、わたし達もそんな暮らしを積み重ね、「葛川の暮らし」を守りたいとつくづく思います。地域の困りごとや課題を自分ごととして解決・改善できるよう、いろんな取組・発信を楽しんでいきたいです！安曇川の源流のせせらぎと、一日として同じ景色ではない豊かな山々にいると、人と自然は切っても切り離せないからだで感じることが出来ます。そんな自然を感じ、そして、そこに暮らす人々の営みに触れに、葛川へ是非お越しください。

ホームページ・お問い合わせ
<https://www.katsuragawa-shiga.com/>



Facebook



Instagram



「葛川まちづくり協議会」で検索してみてくださいね！